

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート vol.21

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(勾坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 46歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有) 勾坂豊店入社
07年逗子市商工会青年部部长・08,09年沼間小PTA会長、08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(高校2年) 次女(小学5年) 長男(小学3年) 2010年3月に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員長、基地対策特別委員長 総務常任委員会委員長、現在2期目 都市計画審議会委員 所属会派 市政クラブ

28年度第1回定例会報告

第1回定例会が2月25日～3月23日に行われました。今回の定例会では、平成27年度の一般会計補正予算及び4特別会計補正予算が提出され、すべて可決承認されました。28年度一般会計予算については、修正案が提出され(事務事業総点検事業・地域自治システム事業の2件減額修正)可決されました。4特別会計予算については、すべて可決されました。その他の主な議案では、工事請負契約の締結について(仮称)療育・教育の総合センター改修工事・沼間5号神武寺トンネル拡幅工事の2件(可決)、逗葉地域医療センターの指定管理者の指定について(可決)市立図書館条例の全部改正(否決)、逗子市廃棄物の減量化・資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について(可決)議員提出議案では、逗子市路上喫煙等の防止に関する条例の制定について(可決)されました。また、市長から平成28年度の施政方針及び予算提案説明を受け、7会派7人の議員が代表質問を行いました。私も会派を代表として、代表質問を行いました。

【厳しい財政運営が続く見通し】

長期財政見通しでは、人口減少と高齢化の進展とともに、市税収入は、平成28年度約93億円から平成38年度には、約89億円へ低下していく推計になっています。人件費は、減少となるものの扶助費は、約12億円の増額になり、各年度の財源調達のために財政調整基金が徐々に減っていく厳しい財政運営が続く見通しです。本市は、住民税が主な財源のため、生産年齢人口層の転入増による人口の維持が重要となります。この厳しい状況を克服するためには、行財政改革が重点課題と考えます。

一般会計の財源内訳(案)

(単位:千円)

財源別	平成28年度		平成27年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減	伸率
市税	9,331,739	47.4%	9,423,363	51.6%	△ 91,624	△ 1.0%
国県支出金	3,675,235	18.6%	3,447,544	18.9%	227,691	7.7%
地方交付税	1,060,000	5.4%	1,070,000	5.9%	△ 10,000	△ 0.9%
繰入金	509,673	2.6%	178,000	1.0%	331,673	186.3%
市債	2,080,800	10.6%	1,275,100	7.0%	805,700	63.2%
その他	3,039,553	15.4%	2,865,993	15.6%	173,560	19.9%
合計	19,697,000	100.0%	18,260,000	100.0%	1,437,000	7.9%

逗子市路上喫煙等の防止条例に関する条例が制定 (議員提出議案)

市議会では、昨年より歩行喫煙防止条例に係る調査会を立ち上げて、検討を重ねてきました。今定例会において、議員提出議案として提案し、全会一致で可決しました。この条例の目的は、路上喫煙を防止することにより、市民等の身体及び財産への被害の防止、健康への影響の抑制並びにたばこの吸い殻の投棄の防止を図り、もって市民等の安心かつ安全で健康な生活の確保及びまちの美観の保全に寄与することです。**[28年10月から施行]**

「逗子なないろ保育園」が開園へ (民間保育所誘致)

民間保育所誘致により4月から「逗子なないろ保育園」が開園します。定員110人規模ですが、入所申し込みが予想を上回る人数となったため、依然として待機児童解消には至らない見込みであり、4月時点の待機児童数を踏まえ、市は引き続き対策を検討してまいります。



ごみの減量化 葉山町とごみ共同処理を検討

市は、葉山町とのごみの共同処理が財政的にもメリットが得られるとの認識が一致し、まずは逗子市と葉山町の既存施設を活用し、逗子市が焼却と容器包装プラスチックの処理を、葉山町が植木剪定枝とし尿の処理を担う方向で検討を進めています。生ごみ全量資源化を目指してキエーロ等の生ごみ処理容器の普及促進を図るとともに、将来的には、生ごみ処理容器が設置困難な家庭の生ごみを収集し、葉山町において生ごみ資源化施設を設置する方向で協議するようです。



[持ち込みごみ処理手数料の値上げ 28年10月から]

事業系ごみ等の持ち込み処理手数料について、受益者負担の適正化及び近隣自治体との均衡を図るため、現在の10キロ150円から250円に改定とする、条例の一部改正が今定例会で可決されました。

市立図書館の指定管理者制度への導入は否決

今定例会において、逗子市立図書館条例の全部改正について、反対多数で否決されました。内容は、図書館の運営を民間に任せる指定管理者制度を導入するものです。市長は公募ではなく、(株)パブリックサービス※に指定管理者とする方針です。導入の際には、市民サービスの質の向上につながるなど、さらには運営費のコスト削減につながるなど、市民にとって有益なものとならなければいけないと考えます。公共施設の中でも、とりわけ図書館は逗子の文化の顔ともいえる地域にとってかけがえのない施設であります。今回の非公募での指定管理先を(株)パブリックサービスとする提案には、いまだ慎重に検討すべき点が多々あると判断し、条例改正案を反対しました。

※(株)パブリックサービスは市民の高齢者雇用、老後の生きがいと就労の場を提供。現在、市の公共事業等(駐輪場及び駐車場の管理等)を受託。

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先